

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3. 「安全・減災都市二宮」づくり				
分野別方針	(1) 消防・救急活動の充実強化		実施計画事業	1) 消防・救急活動事業 (No.68)				
予算等事業名	消防団運営経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進めます。							
内容	非常備消防の運営管理を行う。							
根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> ・消防組織法 ・二宮町消防団等に関する規則 							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・団幹部による会議を年8回開催し団運営や各種訓練の検討を実施しました。 ・団員の災害出動や訓練実施時の報酬、退団者に退職報償金を支出した。また、被服や装備品等を更新し団員の安全を確保して福利厚生も充実し、より良い活動体制の整備を図りました。 						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	団幹部会議回数						
前期(27年度)目標値	24			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
単位:	回			消防団員の被服や安全装備の更新と補充や、福利厚生について検討して団活動を充実する。			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	8						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		18,387	17,713				
財源内訳	一般財源	18,387	17,713				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 ・町内の居住者や在勤者が自分の仕事をしながら活動しているため、公費が妥当な事業と考えま	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 ・町の安全・安心を守る活動を実施しているため、町が主体で実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 ・成果があがっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 ・適正な団の運営を実施しているため、成果はあがっている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 ・町の安全・安心を推進するためには、常備消防の消防力だけでは町を守ることは困難で消防団の更なる装備の充実や施設の改善を推進します。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・サラリーマン化が進み新たな団員確保が困難になっている現状で、女性の参画を促すような消防団の活動をPRし、福利厚生を充実して待遇改善を図り、消防団の体制を強化し地域の安全を向上する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	・大規模災害等が発生した時には、地域に居住する消防団員の活動が初動時として有効であり、地域の安全性を高めることになる。		
今後の方向性	・大規模災害等の発生を想定して、消防団員数の確保に努めるとともに安全装備等を充実し、消防団を強化する。		